

広報

おいらせ



Special
Edition

自主防災で 災害に備える

- 14 Oirase Topics まちの話題
- 16 もうすぐ雪が降る ー冬の除雪作業ー
- 22 Monthly Oirase Infomation
- 23 おいらせが全国に誇れるブランド⑩
- 28 日本ーのおいらせ鮭まつり
- 30 ZoomUp ー深沢美希さんー
- 32 家族のきずな ー馬場直人さん・悠生君ー

Public
Relations
December
2009
No.58

12

自主防災で災害に備える

もしも大災害が突然発生したら、限られた消防力だけでおいらせは守れない。地域の実情を普段から知る人々の力が必要だ。災害時に孤立した地域が、自立できるか—そのとき、果たして何ができるのか—近年少しずつ組織化される自主防災組織に求められる、大きな課題だ。



町総合防災訓練は10月4日に行われた。土砂災害救助訓練で、下田消防団第6分団の袴田喜代美副団長（右）の指示を受け、土砂を取り除く中村喜美男団員（左）

教えたくなる
この人

一人でもさみしくはない
全国大会で入賞を狙いたい

12

Oirase Town
Public Relations
December 2009
No.58

CONTENTS 目次

- 02 みんなに教えたくなるこの人
—漆澤亮さん—
- 03 特集
自主防災で災害に備える
- 14 Oirase Topics まちの話題
- 16 冬の除雪作業
- 21 国民年金マン
- 22 Monthly Oirase Information
- 25 戸籍の窓
- 26 町農業委員会委員一般選挙投票日
- 28 日本一のおいらせ鮭まつり
- 30 ZoomUp —深沢美希さん—
- 32 家族のきずな
—馬場直人さん・悠生君—



表紙の写真●日本一のおいらせ鮭まつりは11月14日、15日の両日開かれた。雨にも負けず、多くの参加者がサケのつかみ捕りを楽しんだ

下田中学校スケート部

漆澤亮さん



うるしざわ・りょう●1995(平成7)年生まれ。小学生スピードスケート東北大会500m、1000m優勝を皮切りに、中学校の部でも全国大会などで活躍。現在、下田中学校でただ一人のスケート部員。曾祖母、祖父母、父母、兄との7人暮らし。おいらせ町木内々在住、14歳

町民交流センターのステージ上で、コーチと共に地道なトレーニングを重ねる漆澤亮さん(一四)木内々は、下田中学校でただ一人のスケート部員だ。十二月八日から始まるスピードスケート東北大会予選会に向け、最終調整を行う。漆澤さんがスピードスケートを始めたのは、小学校一年生のころ。当時すでに競技を始めていた兄と、共にスケートを始めた。日々の練習を重ねるにつれ、技術や体力を着実につけていった。そして小学校五年生の時、小学生スピードスケート東北大会五百メートル、千メートルの部で、見事優勝に輝いた。

ただ一人だが「さみしくはありません」と力強い。二年連続、長野県で開かれた全国大会へも出場。しかし全国レベルの壁は厚く、残念ながら入賞することはできなかった。漆澤さんは「まだ練習が足りない。もっと頑張らないと」と気を引き締める。スケートは相手だけでなく、自分自身との戦いでもある。シーズンオフも、走りこみなどのトレーニングを重ね、地道に調整を続けた。これから中学生として最後の大会を迎える漆澤さん。「今年こそは全国大会入賞を狙います」と目標を掲げる。将来は「父の跡を継いで、建築関係の仕事に就きたいです」と、しっかりとしたまなざしで前を見た。

— 震度6弱、太平洋に3mの津波発生を想定し訓練を実施 —

町総合防災訓練



05



04



03

03 ●現地対策本部には各地区の災害情報が寄せられる。情報を的確に処理する中野重男総務課長補佐（右） 04 ●陸上自衛隊第5高射特科群の隊員は、倒壊ビル救助救出訓練での確な動きを見せた 05 ●町赤十字奉仕団、町連合婦人会は炊き出し訓練を担当した 06 ●青森県は防災ヘリコプターしらかみを訓練に派遣。海岸に取り残された住民を救出する訓練を行った



06

十月四日午前九時、太平洋沿岸部の日本フードパッカー(株)青森工場駐車場。ここを主会場に、本年度の町防災訓練は行われた。訓練は▽青森県東方沖でM8.0の大地震が発生▽おいらせ町は震度6弱の強い揺れを観測▽家屋倒壊▽火災の発生▽多数の負傷者発生▽太平洋沿岸では三つの津波発生という想定だ。災害の発生を受け、すぐに三村町長を本部長とする災害対策本部が設置された。また現地災害対策本部には各地区の被害状況が途切れることなく集められる。その情報に対し、的確な指示を与える町職員ら。訓練とはいえ、実際の大きな被害を思わせるかのような

地震と津波の発生を想定 およそ500人が訓練に臨んだ

緊張感が走った。海上では逃げ遅れた住民を救出する訓練が展開された。海岸に取り残された住民を救うため、青森県防災ヘリ「しらかみ」が出動。ごう音を上げながら現地に接近する。隊員は的確な動きで、無事住民を救出した。町民による自主防災組織の訓練も見逃せない。消火訓練や救出訓練、救急救命訓練などを行う。彼らは普段の鍛錬の成果を十分に発揮した。いつ起こるか分からない災害を想定した町防災訓練には、参加した五百人の関係者は、非常時にどのように対処すればよいか、あらためて訓練を通じて学んだ。



01

町総合防災訓練は10月4日、沿岸地域を主会場に行われた。訓練は行政、関係機関、住民を合わせておよそ500人が参加。非常事態にいかによやく動き、人命を救うか、真剣に確認した。訓練の一部始終をカメラが追った。

町民の力

— 住民対応訓練 —



町百石消防団第10分団

町百石消防団第10分団の団員らは、がれきから救出されたけが人を手当てする訓練を行った。AEDを使って救命を試みる団員



横道火防組・深沢自主防災・上新町自主防災

倒壊した家屋に閉じ込められたけが人を救出する訓練を行った。懸命に力を振り絞り、救出活動を試みた



洋光台自主防災・古間木山自主防災

炎が燃え上がる家屋の消火訓練を行った。水が入ったバケツをお互いに手渡し、素早く炎を消した



02

01 ●救急救護訓練はバルーンシェルター内で行われた。次々に搬送されるけが人を手当てする訓練。心配蘇生法で救命を試みる八戸北消防署員 02 ●事故車両に閉じ込められたけが人を救出する訓練を行う八戸北消防署員。厚い鉄板も切断できる油圧カッターを使い、救出を試みる



山全体が動いたような大規模な土砂崩れ（巖美町坂川地内）。およそ 50 万㎡の土砂が磐井川を埋めている（平成 20 年 6 月 14 日午後撮影）

岩手・宮城内陸地震

平成 20 年 6 月 14 日、岩手県や宮城県を強烈な地震が襲い、多くの被害を出した。岩手・宮城内陸地震である。おいらせでも震度 5 弱を記録。さらに現地の被害は深刻だった。このような大地震がいつ起こっても不思議ではない。

[取材協力]

岩手県一関市秘書広報課
(本頁の文、写真のすべてを提供)

地震直後、数箇所で行った大規模な土砂崩れや国道に架かる橋の崩落により、道路が寸断された岩手・宮城内陸地震。孤立したエリアごとに住民が自主的に集まって安否確認を行い、代表者が市災害対策本部と連絡を取り合つたため、ヘリコプターによる救助が迅速に行われました。大きな被害のあった市西部の巖美町本寺地区は、自主防災組織は未結成だったものの、地域のつながりが深い地域。避難所の運営に関しても、同じ地区内の顔見知りの人たちが避難した人たちのお世話に当たる、いわば助け合いの延長で行った部分が大きかったため、スムーズに進みました。消防団は、土砂崩れによりできた土砂ダムの警戒に二十四時間体制で従

地震後の災害で道路が寸断 住民の自主性で迅速な救助

事し、大きな力を発揮しました。水害常襲地帯の一関市。大規模な地震災害は初めてだったものの、十七年九月の合併後も地震・水害を想定した大規模な防災訓練を行っていたこと、十九年の水害の経験に加え訓練も重ねていたことなどより、市災害対策本部の運営はスムーズに進めることができました。今後、近い将来起きるといわれている宮城県沖地震では、市内の複数箇所、同時に被災するところが考えられます。自主防災組織の組織率は市内全世帯の約七割ですが、市はさらに結成促進を図っています。また、今回の地震災害の経験を多くの市民に伝え、情報を共有することが今後の備えとして重要であると考えられています。



①中央部の水面は矢櫃（やびつ）ダム。大規模な土砂崩れが数箇所で見られ、一部は国道 342 号を寸断している（平成 20 年 6 月 14 日午後撮影） ②一関市立本寺小学校に設置した避難所の様子

生活を脅かすもの

地震、津波、台風、豪雨、土砂崩れ…自然はさまざまな災害を引き起こす。そのたびに人命を奪い、財産を破壊してきた。日々そのようなニュースを目にするたびに、知らず知らずのうちに考えてはいないだろうか。「わたしたちの所は大丈夫だ」と一。災害はいつ、どこで起こるか分からない。あらためてその恐ろしさを知っておこう。

昭和 43 年の十勝沖地震

教室の窓ガラスがほとんど割れた



柏崎幸子 さん
かしわざき さちこ (58、木内々)

十勝沖地震のとき、わたしは三沢商業高校 3 年生でした。授業中、急にものすごい揺れが襲ってきました。教室の中の窓ガラスは、ほとんどが割れてしま

ました。揺れが収まってから校庭に避難しましたが、新しく建てられたばかりの校舎の一部が崩れ落ちていました。今まで体験した中で、最も大きな地震でした。

十勝沖地震◎ 1968 (昭和 43 年) 5 月 16 日 9 時 48 分 53 秒、北海道襟裳岬東南東沖 120°で発生した地震。地震の規模は M7.9、最大震度 5。北海道をはじめ北東北を中心に、強烈な揺れが襲ってきた。本町では死者はなかったものの、道路や線路、橋などが崩壊。電気や水道なども大きな被害を受け、復旧まで長い時間がかかった。

昭和 8 年の昭和三陸大津波

あっという間に津波が押し寄せてきた



鈴木末治 さん
すずき すすじ (88、一川目)

そのとき、わたしは小学校 5 年生でした。まだ夜が明けきらないころ、大きな地震が起こりました。その後、あっという間に津波が押し寄せてきました。家の

戸口に流れてきた船がぶつかりました。雪がたくさん降っていた夜明けでした。そのことは 70 年以上経った今でも鮮明に覚えています。

昭和三陸大津波◎ 1933 (昭和 8 年) 3 月 3 日、2 時半ころ、岩手県釜石市東方沖で発生した昭和三陸地震により発生した大津波。岩手県田老町では 10 分の津波が発生し、多くの死者を出した。おいらせ町でも二川目地区でおよそ 5 分の津波を観測。明神下地区にある慰霊碑には、津波により多数の死傷者が出た記録が刻まれている。

平成 3 年の台風 19 号

猛烈な勢いでトタンが飛んできた



松林和幸 さん
まつばやし かずゆき (33、木ノ下)

台風 19 号のとき、わたしは木ノ下中学校 3 年生でした。朝、いつものように自転車で中学校へ向かいましたが、風が強すぎて、自転車をまっすぐ進めること

ができませんでした。トタンや枝などが猛烈な勢いで飛んできました。あれからもう 20 年近く経っていますが、本当に猛烈な台風だったと思います。

平成 3 年の台風 19 号◎ 1991 (平成 3 年) 9 月 16 日、マーシャル諸島の西海上で発生した台風 19 号は、猛烈な勢いで日本に上陸。九州上陸時には中心気圧 940hPa、鹿児島で瞬間最大風速 88m/s を記録した。9 月 28 日に青森県を直撃。津軽地方では収穫時期のリンゴがほとんど落下し、大きな被害を受けた。「リンゴ台風」とも言われる。

自主防災の必要性

自主防災組織を立ち上げるには

現在、本町には5つの自主防災組織が結成されている。いずれも「自分たちや家族の安全は自分たちで守る」という強い思いで、自主的に結成されたものだ。自主防災組織を結成すると、町や消防署からさまざまな指導や助成事業を受けることができる。組織を立ち上げるには、基本的に次のような手順を踏むのが一般的。組織立ち上げを考えている団体は、難しく考えず、まずは気軽に町総務課へ相談してほしい。

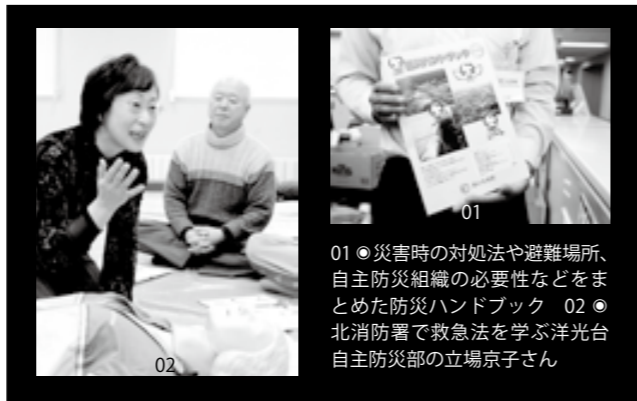
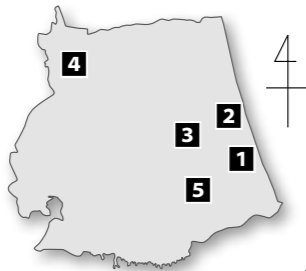
一般的な自主防災組織立ち上げの手順

- STEP 1 自主防災組織の必要性などを、町内会など地域の住民同士で話し合い、合意形成する
- STEP 2 自主防災組織の規約や活動内容、防災計画などを作成する
- STEP 3 自主防災組織結成の届け出を町総務課へ提出する。

町総務課 ☎ 0178-56-2166

現在組織されている自主防災組織

- 1 横道火防組
- 2 深沢地区自主防災会
- 3 洋光台自主防災部
- 4 古間木山連合町内会自主防災部
- 5 上新町自主防災組織



01 ● 災害時の対処法や避難場所、自主防災組織の必要性などをまとめた防災ハンドブック 02 ● 北消防署で救急法を学ぶ洋光台自主防災部の立場京子さん

たという。また、震災現場には全国各地から多くの救助隊やボランティアが駆けつけ、被災地の人々と共に汗を流し、神戸の復興に大いに力を発揮した。

自主防災の組織化は「まずはできることから」

自主防災組織は、災害に直面したときに少しでも住民の手で災害の拡大を食い止めるため、さまざまな訓練を行うことが大切になる。訓練内容

は▽避難訓練▽救助救出訓練▽消火訓練▽炊き出し訓練など、多岐にわたる。訓練に向け、地域での検討や議論を重ねていく必要がある。

しかし、自主防災組織の立ち上げを、決して難しく考える必要はない。

町総務課の柏崎勝徳主任は「まずはできることから。地域を自分たちの手で守りたいという気持ちが大切です」と話す。組織化を検討している町内会などは、気軽に町へ相談してほしい。



One for all, all for one

もし大規模災害が発生したならば、町や消防などの限られた力ですべてを守ることはできない。地域や住民は、誰かに守ってもらえないことを前提に、自らの力で的確に、素早く動くことが求められる。「自ら主体的に（自主）」、「自らの手（自手）」で、「自らを守る（自守）」が必要になってくる。災害時に孤立した地域が生き延びるため、自立した地域づくりを目指すことが求められるのだ。

家族や地域は自分たちの手で守る

住宅火災などは比較的狭い範囲で起こる場合が多い。しかし、地震や津波、台風や豪雨などの災害は、近年同時多発的に起こるケースが極めて多い。

広域的に災害が起こった場合、▽電話や電気、水道などのライフライン▽道路や鉄道などの交通網▽消防や警察などの防災機関などが機能しなくなる人が多い。

そのようなときに、地域の人たちができる範囲で、災害の被害を最小限に食い止めることが重要になる。初期消火や負傷者の救助、食糧の調達などを、地域の力で行うのである。

そのような活動を自主的に行うには、ある程度のルール

を決め、定期的に訓練を行う自主防災組織が必要になる。本当に災害に強い町は、行政や消防などの組織力ばかりではない。地域の一人ひとりが災害に対する心構えを持ち、いざというときに機能することが大切だ。

「自分たちの家族や地域は、自分たちの手で守る」―自主防災組織の多くは、このようないで自主的に結成される。現在、本町には5つの自主防災組織が結成されている。定期的に訓練を行い、地域住民の防災に対する意識を高めている。

自主防災のきっかけは阪神・淡路大震災から

本町の防災の要になってるのは、八戸北消防署と町消防団などだ。町消防団員だけ

でも、団員数は三百人以上に上る。彼らは日々厳しい訓練を重ね、万一の災害に備えた組織づくりに努めている。なぜ住民の手による自主防災組織が必要なのかと、疑問に思う人もいるだろう。

そもそも自主防災組織の必要性が叫ばれたのは、一九九五（平成七）年一月に発生した阪神・淡路大震災が大きなきっかけになっている。およそ六千人もの死者を出した、近年まれに見る大災害だった。

この大震災で救われた人命のうち、実に九割以上が自力、家族、友人など、地域の人々から救われたといわれている。それだけでなく、地域住民の力により、バケツを手にして火の延焼を食い止めたたり、建物のがれきを取り除いたり、被害の拡大が防がれ

自主防災組織を少しずつ増やしていきたい

Voice

自主防災組織は、消防団とは異なる組織です。よく消防と同じようなものだと考えている人もいますが、消防団は、行政の非常勤職員として位置付けられています。ですから、もしも大火災、大地震などが起こった場合、消防団長の指揮命令に従い、最も被害の大きな現場に直行することが求められます。

そうすると、大きな災害被害をこうむった地域に消防団があったとしても、より被害の大きな地域に消防団は向かうこととなります。つまり、地元で消防団員がいなくなることが考えられます。

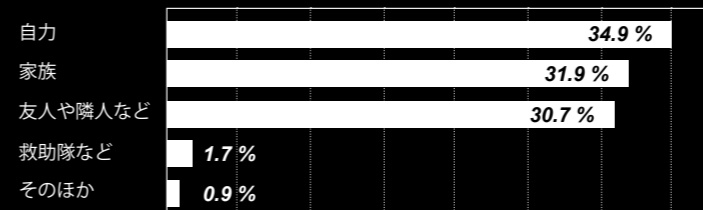
そんなときこそ、地域の人々が自ら身を守る、そんな組織が重要になってきます。これこそが自主防災組織の大きな役割だと考えます。

自主防災組織は、95年の阪神・淡路大震災以降、急速に増えてきます。この大震災のとき、救われた人命の9割は「地域の人々」、「顔見知り」によるものだったといわれるからです。いざ災害が発生したとき、消防署や自衛隊よりも、地域のことを知っている住民の役割が、いかに大きかったかが分かります。

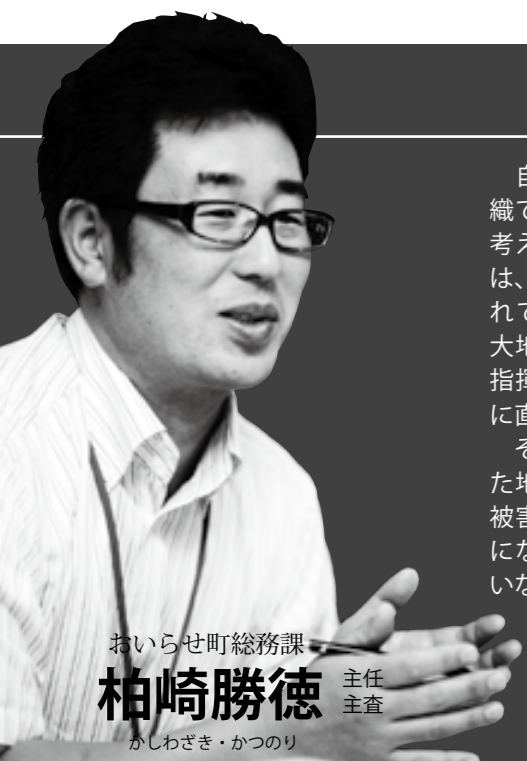
現在、本町には5つの自主防災組織が組織されています。新たに自主防災組織を設立しようとしている地域もあると聞いています。大変心強いことです。

町は今後、自主防災組織を少しずつ増やしていきたいと考えています。自主防災組織を設立したいのであれば、町や消防署は全面的に協力していきます。気軽に問い合わせてください。

阪神・淡路大震災 地域の力で救われた命は9割以上



1995年1月に発生した阪神淡路大震災で救出された被災者のおよそ98%が、自力または家族や隣人などに救助された。災害時は地域の力が大きな支えになる。



おいらせ町総務課 主任 柏崎勝徳 主査 かしわざき かつのり

— 自主防災の取り組み —

自主防災訓練

地域のことは、地域に住む人々が一番よく知っている。その地域の人々が実践的な訓練を積み重ねることで、いざ災害が発生した時に大きな効果を発揮する。古間木山連合町内会は自主防災部が中心となり、9月に防災訓練、11月に給水訓練を行った。いずれの訓練も、災害発生を想定したものだ。



1 古間木山連合町内会自主防災部は自動車に取り付けられる広報用スピーカーを準備した。訓練当日の情報周知などでも大活躍 2 炊き出し訓練のメニューは豚汁やおにぎりなどを準備。調理は男性が担当した 3 訓練開始の放送を聞き、会場へ駆けつけた高原さん一家 4 折笠防災部長は参加者に対し的確に訓練内容を説明した

消防団がないからこそ自主防災組織が必要だ

古間木山連合町内会は九月六日、古間木山集会所を会場に地域全体を対象にした防災訓練を行った。連合町内会は青葉、若葉、緑ヶ丘、住吉の四町内会による連合組織だ。町の最北端にあり、住吉は三沢市と隣接する。近年、急激に人口が増加している地域だ。今回の防災訓練は、住民避

十九年に自主防災組織を立ち上げ、このような訓練を定期的に行ってきた。実はこの地域には、消防団の分団がない。火災などが起こった場合には、ほかの地域から消防団が駆けつけ、消火活動を行ってきた。

人口が増え続ける地域であるにもかかわらず、消防団がない。このことは古間木山地区の住民にとって、大きな心配事であった。折笠防災部長は「だからこそ地域の人々の手による自主防災組織の結成が必要でした」と話す。

正月に起こった断水で訓練の成果を発揮した

防災訓練終了から二カ月後の十一月八日には、給水訓練を木ノ下小学校で行った。木ノ下小学校には災害時の給水に対応できるよう、緊急貯水槽が設けられている。これは災害時に断水が発生した場合、飲み水として利用できるものだ。一度貯水されると、二千人が五日間使用する水量を確保できるという。この日は八戸圏域水道企業

難から始まった。朝九時に町内放送で訓練開催を呼びかけると、参加者が続々と会場へ集まってくる。この日は百人余りが参加した。連合町内会の防災部長を務める折笠行男さん（五〇）若葉Ⅱは、訓練の内容を参加者にしつかり説明する。訓練内容は▽水消火器訓練▽地震車体験訓練▽煙体験訓練▽応急手当訓練▽炊き出し訓練―などである。

古間木山連合町内会は平成

団の職員が講師となり、災害時にどのように貯水槽から水を確保するか、実践的な訓練が行われた。

古間木山連合町内会自主防災部は、この給水訓練も毎年のように行っている。前年も十一月に訓練を行ったが、そのおよそ二カ月後、八戸圏域を中心とした大規模な断水が発生した。本町でもほとんどの地域で断水し、多くの人々の日常生活に大きな支障を来した。

折笠防災部長は「給水訓練を事前に行っていたおかげで、断水のときははずいぶん助かったんですよ」とこり。まさに訓練の成果が、実際の災害時に発揮された瞬間だった。

2009年は断水で幕を開けた

今年1月1日早朝、馬淵川から白山浄水場（八戸市）に水を引き入れる導水管が破裂した。このため同日夕方ころから、八戸市周辺の7市町村、最大で9万1千世帯あまりが断水した。

本町でもほとんどの家庭で断水。八戸圏域水道企業団は給水車を手配したが、満足に水を得られなかった人もいたという。正月早々の出来事に、多くの人々が日常生活に苦労することとなった。

同月6日ころから水道は少しずつ復旧したが、危機管理体制の徹底があらためて求められる出来事だった。



▲寒さ厳しい早朝から行われた給水作業



5 緊急貯水槽の水を使い、仮設水道を設置する訓練を行う古間木山自主防災部員ら 6 災害時に水を持ち運びするための給水袋。子どもでも持ち運びできるリュック型（6㍑）もある



写真右◎防災訓練の一環として、応急手当の方法を実技を通じて学んだ。頭部をけがした場合の応急処置訓練を多くの住民が体験した。左から小楡山龍さん＝青葉Ⅰ、沢谷ユミ子さん＝若葉Ⅰ



訓練をしていたからこそ断水にも対応できた

折笠 行男さん

おりかさ・ゆきお (若葉)

古間木山地区は、近年非常に人口が増加している地域です。新興住宅地であるにもかかわらず、消防団がないことは大変心配なことでした。

自主防災組織を結成したのは、そのような危機感を持っていたからです。集会所や木ノ下小学校を会場に、実践的な訓練を行ってきました。

今年1月、町内の水道が広範囲にわたって断水しました。実はその3カ月前、木ノ下小学校の緊急貯水槽操作訓練を行っていました。だからこそ、人口の多い地域でありながら、スムーズに給水作業を行うことができました。

まさに「備えあれば憂いなし」です。

古間木山連合町内会自主防災部 [平成19年結成]

小さな地域だからこそきめ細かな配慮

三村 芳美さん

みむら・よしみ (横道)

横道火防組は昭和52年に結成した、歴史ある自主防災組織です。横道地区の人々の多くが、この組織にかかわっています。

横道は25世帯の小さな集落ですから、お互いの家族構成までほとんど把握しています。いざという災害が起こったときは、互いに声をかけ合って

助け合う体制ができています。小さな地域だからこそ、きめ細かな配慮ができると考えています。

横道は海に面した地域ですから、常に津波のことを心配しなければなりません。地域の人々は、津波が来そうならばすぐに高台に逃げることを、昔から家族に伝えているようです。



横道火防組 [昭和52年結成]



高齢者世帯が多い地域だから自主防災は重要

山崎 斉さん

やまざき・ひとし (上新町)

上新町は分庁舎付近にある地域です。「上新町から災害を出さない、災害に遭わない」を合言葉に、自主防災組織を立ち上げました。

上新町には消防団員がいません。消防車が進入できない細い道がいくつかあります。消防署の実地調査でも「火災が発生したら本当に危ない」と言わ

れました。特に深刻なのは、高齢者の世帯が非常に多いことです。

自主防災組織を立ち上げてから、訓練はもちろん、高齢者世帯への情報提供や防災意識の啓発に力を入れています。普段から地域のつながりを強めてこそ、いざ大災害が発生した時に対処できると考えています。

上新町自主防災組織 [平成20年結成]

地域の保育園と連携した訓練を検討中

工藤 一雄さん

くどう・かずお (深沢)

深沢地区自主防災会は平成19年に組織を立ち上げました。毎年町内会の防災訓練を行っていますが、子どもから高齢者まで、たくさんの参加者があります。

深沢地区は海に面した地域です。調べてみると、海拔5mに満たない場所に家が数件あることがわかりました。

大津波がもし来たらならば、大変なことになります。常にしっかりと避難ができるよう、意識しながら訓練を行います。

また、今後は深沢保育園と共に、防災訓練を行うことを検討しており、地域ぐるみで災害に強いコミュニティをつくりたいと考えています。



深沢地区自主防災会 [平成19年結成]

取材を終えて

テレビやインターネットを見ていると、地球上のどこかで、頻りに大災害が起こっていることが分かる。

でも心のどこかで、無意識のうちに思ってしまうことがある。「わたしの住んでいる場所であって良かった」と。

しかし災害は、いつ、どこで起こるか、まったく分からない。決して他人事ではない。だからこそ日々の生活の中で、少しずつでも準備を整えていかなければならない。

本町でも自主防災組織を立ち上げる地域が、少

しずつではあるが増えてきた。しかし、自主防災組織は組織することが目的ではない。災害時に機能するかどうか、それこそが重要になってくる。孤立した地域が生き延びるためにも、しっかりと自立した地域をつくっていかなければならない。

特集◎自然災害から命を守る 終わり

特集の意見や感想を寄せてください

●おいらせ町企画課 ☎ 0178-56-4701

●ホームページ町民の声

<http://www.town.oirase.aomori.jp>

お互いの思いやりが防災につながっていく

佐々木 勝さん

ささき・まさる (洋光台)

平成16年の東日本大震災、平成17年の能登半島地震などの災害を見て「大災害時に何が出来るか、きちんと準備しておかなければならない」と感じました。洋光台自主防災部の設立は、まさにそのような思いがきっかけになっています。

洋光台で行う防災訓練は、高齢者は

もちろん、若い夫婦や子どもたちもたくさん参加しています。多くの人々に防災意識を持ってもらいたいです。

洋光台は祭りやイベントで地域を盛り上げています。そのような機会に培われるお互いの思いやりは、災害時にも絶対に必要なことだと思っています。



洋光台自主防災部 [平成19年結成]

子どもたちの教育に役立てて
社交ダンス愛好会パオから町へ寄付

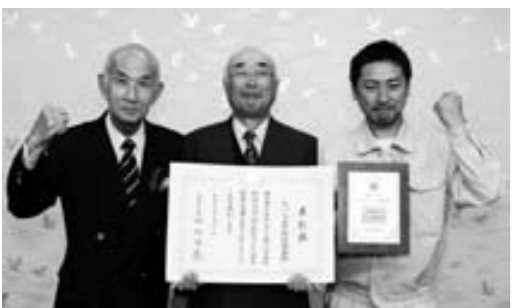


社交ダンス愛好会パオの蛭名幸政ゆきまさ会員＝曙＝は10月29日、本庁舎を訪れ、奨学資金として63,550円を町へ寄付しました。パオは毎年チャリティー売上金の一部を、町へ寄付しています。

蛭名会員は「ダンスは体も心も使う運動です。趣味としては最高です」と、社交ダンスの魅力をにっこり笑顔で語ります。そして「子どもたちの教育のため、ぜひ役立ててほしい」と、三村町長へ寄付金を手渡しました。

◀ 蛭名会員（右）はにっこり笑顔で寄付金を町長へ手渡した

長年の野球普及活動が評価
町野球協会は文部科学大臣賞を受賞



町野球協会（大山益三ますみ会長）は、このほど文部科学大臣賞を受賞しました。これは長年野球の普及活動を継続して行い、人材の育成に努めてきたことを高く評価されたものです。

10月29日に行われた朝野球閉会式で、大山会長は村上教育長へ受賞を報告。「これまで続けてきた活動が評価されたのは、大変名誉なこと。これからも協会員一丸となって、普及活動に務めていきたい」と、決意を新たにしていました。

◀ 賞状を手にガッツポーズ。左から村上教育長、大山会長、袴田庶事務局長

さわやかな秋空の下で
パークゴルフ体験会



町教育委員会は10月31日、カワヨグリーン牧場でパークゴルフ体験会を開きました。当日は40人余りの参加者が、秋空の下でさわやかな汗を流しました。

パークゴルフは芝生の上に設置されたコースで行います。体に負担が少なく、誰でもできる軽スポーツとして注目されています。

この体験会に初めて参加した小向優良ゆづさん（百石中2年）は「思ったより難しいですね。コースの傾きによって、力加減を調節しなければなりません」と話していました。

◀ 狙いを定めてファーストショットを放つ小向さん

念願の新校舎建設工事が始動
百石中学校新校舎建設安全祈願祭



百石中学校新校舎建設安全祈願祭は11月9日に行われました。祈願祭当日は関係者およそ50人が出席。これから本格的に始まる工事の安全を祈願しました。

百石中学校は昭和47年に建設されました。以来37年余りの期間が経ち、老朽化が目立っていました。町教育委員会は生徒たちの安全のために新校舎の建設を検討。町議会の承認を得て、長年の願いだった新校舎建設が決定したものです。

新たな校舎は平成23年3月に完成する予定です。

◀ 新校舎建設工事の安全を祈願し、くわを入れる三村町長

白球に勝利への思いを乗せて
第34回隣接小学校親善野球大会



第34回隣接小学校親善野球大会は10月17日、18日の両日、下田公園野球場で開かれました。この大会は毎年開かれているものです。

決勝戦は木ノ下ファイターズと木内々野球部が激突。木ノ下は初回表に2点を先制。その後2点を追加しました。木内々も2点差に追いつき、粘りを見せます。しかし反撃もここまで。木ノ下が4-2で勝利しました。

和田冬真ふゆま投手（木ノ下小5年）は「ピンチでも、絶対抑えられたいと信じて投げました」と汗をぬぐっていました。

◀ 「絶対抑えられる」。強い気持ちを持って力投した和田投手

秋の農作物が盛りだくさん
秋の農業まつり



秋の農業まつりは10月18日、町民交流センターで開かれ、多くの来場者でにぎわいました。

会場には農業者らが提供した野菜などが、通常価格よりも安価に販売されていました。買い物客は新鮮な野菜を笑顔で買い求めていました。イベントの目玉である模擬競り市も大盛況。参加者は目当ての特産品を買い求めようと、夢中で手を挙げながら競りに参加しました。

両親とイベントに参加した柏崎友祐ゆうすけ君（下田小2年）は「金魚すくいもあって楽しかったです」と笑顔でした。

◀ 模擬競り市は大盛況。担当者の声にも気合が入る

厳しく、そして愛情を注いで
ふるさと学習塾第3講座



ふるさと学習塾第3講座は10月19日、町民交流センターで開かれました。

今回の講師は元横浜高校野球部監督の渡辺元智もとりのりさん。メジャーリーグレッドソックスの松坂大輔投手や、西武ライオンズの涌井秀章投手らを指導した監督です。

渡辺さんは40年以上の野球監督生活で得た経験を惜しみなく披露。「子どもたちに与える大人の一言はとても重要。時には厳しさも必要。そして愛情を注いであげよう」と、およそ200人の受講者へ熱く訴えました。

◀ 「時には厳しい指導も必要」。受講者らに熱く語りかける渡辺さん

音楽の調べに観客はうっとり
音楽の夕べ



音楽の夕べは10月23日、町民交流センターで開かれました。今回のゲストは「トリオ・ザ・PONTA with 未唯mie」。ドラムにPONTAさん、ボーカルにmieさんを交えた4人組のユニットを招きました。会場には300人の観客が集まりました。

PONTAさんは華麗なドラムさばきを披露。mieさんの歌声も美しく会場に響き渡ります。ピンク・レディー時代のヒット曲『UFO』には、会場のボルテージも最高潮。観客は惜しめない拍手を送っていました。

◀ mieさんの美しい歌声に、観客はうっとり耳を傾けた

雪もうすぐが降る

— 冬の除雪作業 —

12月になると、そろそろ雪が降り始めます。大量の雪は、住民の生活に支障を来します。町は住民生活を守るため、毎年のように除雪作業を日夜問わず行っています。スムーズな除雪作業を行うために、皆さんの協力をお願いします。

☎ 地域整備課 0178-56-4702



1



2



3



4



5

1 夜間の除雪作業は時間との戦い。暗い中での作業は常に危険を伴う 2 住民からの除雪にかかわる要望は地域整備課へ寄せられる 3 現場パトロールを終え、除雪ルートを業者と打ち合わせする職員ら 4 町の7トトラックで除雪作業を行う職員ら 5 小型除雪機で除雪作業を行う深沢町内会員ら。地域の力を結集し、子どもたちの通学を強力に支える

除雪にかかわる質問を寄せてください
 広報おいらせ1月号は「特集・除雪Q&A (仮称)」を掲載する予定です。除雪にかかわる皆さんからの質問や疑問を寄せてください。
 ☎ 企画課 0178-56-4701 / HP 町民の声

は幹線道路が最優先されます。除雪作業をスムーズに行うためには、地域の皆さんの協力が必要です。▽道路にはみ出した枝を切り払う▽路上駐車をしないう▽道路に物を置かない▽道路に雪を捨てない▽除雪作業後に住宅入り口にたまった雪は各家庭で除雪するーなどです。雪が舞う夜間の作業は、日中の作業と異なりさまざまな危険が伴います。そのような時、作業の支障になることがあります。作業効率は大幅に悪化します。皆さんの協力をお願いします。皆さんの協力をお願いします。

このように地域の力を結集して、自主的に除雪作業を行っている人たちがたくさんいます。スムーズな除雪を行うには、皆さんの力が必要です。協力をお願いします。

深沢町内会など、いくつかの町内会は除雪隊を組織しています。助成金を使って購入した小型除雪機を使い、通学路などを除雪しています。甲洋小学校児童の通学前に行われる歩道除雪は、保護者や学校から大変喜ばれています。

歩道などにはなかなか手が回らないのが現状です。そのため、通勤や通学の時間帯までに、除雪作業が終わらない場合もあります。

わたしたちの住むおいらせ町は、青森県内でも比較的雪の少ない地域です。それでも冬の期間は、車を走らせることができないほどの積雪に見舞われることがあります。

町はそのような時、住民の交通障害を少しでも減らすため、除雪作業を行います。作業は除雪機を使って行われます。町所有の機械だけでなく、業者所有の機械も多く投入します。除雪作業は夜間に行われることもよくあります。早朝の出勤や通学などの時間帯に、少しでも支障を来さないようにするためです。

しかし最近、除雪機械の台数は減少しています。近年の経済不況のため、維持費に大きな経費のかかる除雪機械を手放す業者が増えています。この厳しい状況の中、町は何とか除雪機械を確保しているのが現状です。

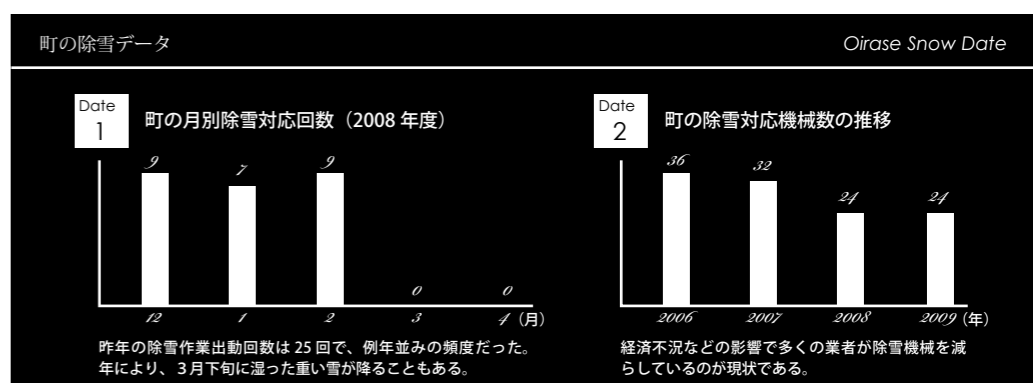
この状況は今後も続くと思われされます。行政だけでなく、地域の皆さん一人ひとりの力を分けていただくことも、今後重要になると考えます。


除雪作業は限られた台数の除雪機械で、短時間に行う必要があります。そのため、除雪作業

除雪担当者の声

除雪機械の減少で、住民の要望にすべて応えるには厳しい状況です。しかし町は限られた予算と時間で、可能な限り素早く除雪作業を行います。作業をスムーズに行うには、皆さんの協力が必要です。道路に車を停めないなどの協力をよろしくお願いします。

地域整備課 課長補佐 松林政彦 Matsubayashi Masahiko





唐箕

【民具ふれあい館蔵】

唐箕は、取っ手と連結する起風羽根を内蔵する起風胴部と、漏斗柵部、選別部の風路、調節板などが付いている。ほかに粉の落下する量の加減や風力調整を付けたものもある。粉を上部の漏斗柵部に入れ、取っ手を回して起風羽根を回転させると、風路に風が送られる。重い精粉は真下の一番口に落ち、実入りの雑な粉は風に押されて、次の二番口から出てくる。軽い藁くずやごみなどは風路の吐き出し口から外に飛ばされる。起風羽根で風を起こすと、粉の重さによって落下口を区別される

仕組みである。一粒でも多く米を収穫したいという農家の願いが込められていた。粉はそのまま貯蔵し、必要なときに必要な量だけを玄米や精米にしたが、ここでも唐箕が活躍した。唐箕は米だけでなく、大豆や小豆などの穀物一般の選別にも、大いに役立っていた。高価な唐箕は大切に扱われた。

(文化財保護審議会委員 櫻庭俊美)

新年を祝う会を開催します

●日時 一月四日(月) 十六時から

●場所 みなくる館

●会費 一人三千元

●対象 町民または町内の事業所などに勤務する人

●申し込み方法 十二月十八日(金)までに、会費を添えて申し込んでください。

●申し込み先

- ①総務課(本庁舎)
- ②分庁サービス課(分庁舎)
- ③町商工会(本所、百石支所)

●主催 おいらせ町、おいらせ町商工会

●問い合わせ 総務課 ☎ 0178(56) 2166

新着図書 [図書館]

●一般書

- 新参者 / 東野圭吾
- あるキング / 伊坂幸太郎
- さよなら私 / みうらじゅん
- 洗濯王子に教わるおうちで快適クリーニング! / 中村祐一
- すぐれた脳に育てる / 久保田競・カヨ子
- ギャル農業 / 藤田志穂

●児童書

- ホッタラケの島 / 金治直美
- あの子はだあれ / 日野多香子

新着図書 [中央公民館]

●一般書

- 殺気! / 栗井脩介
- 筆談ホステス67の愛言葉 / 斉藤里恵
- セレモニ―黒真珠 / 宮木あや子
- スパイ・ガール①② / スパイ・ガール①②

●グース・バンクス①② / R・L・スタイン

●サヤエンドウじいさん / 矢崎源九郎ほか

●ホットケーキでできあがり! / エリック・カール

新着図書 [北公民館]

●一般書

- 静かにしなさい、でない! / 朝倉かすみ
- ジパング島発見記 / 山本兼一
- 外国人墓地を見て死ね / 西村京太郎
- ごきげんな裏階段 / 佐藤多佳子

●C・ハリス / かいとろドチドリチ雪のよるのプレゼント / 柏葉幸子

●サマー・オブ・パールズ / 斉藤洋

●だっこのおにぎり / 長野ヒデ子

●まないたにりょうりをあげないこと / シゲタサヤカ

●おへそのあな / 長谷川義史

◎ 十二月の本展示 ◎

★一般★

『年越し準備は進んでいますか?』

大掃除に役立つ本や正月料理の本など

★児童★

『待ち遠しいな、クリスマス』

クリスマスの絵本や読み物

◎ 十二月のよみかせ会 ◎

●日時 十二月十二日(土)、二十六日(土) 十四時から

●場所 あそぼつと(図書館内)

◎ 幼児のためのよみかせ & 布絵本であそぶ会 ◎

●日時 十二月十七日(木) 十時半から(毎月第三木曜日に開催します)

◎ 十二月の図書館休館日 ◎

七日(月)、十四日(月)、二十一日(月)、二十八日(月)、二十九日(火)から一月四日(月)まで

地元食材の料理教室

●日時 一月二十一日(木) 十時から十三時まで

●場所 いきいき館

●講師 古川廣志さん

●受講料 無料

●材料費 八百円

●持ち物 エプロン、三角巾

●定員 二十人(町民優先)

●申込締め切り 一月八日(金)まで

煎茶道教室

●日時 一月十八日、二十五日、二月一日、八日、十五日

新年書き初め大会

●日時 一月五日(火) 九時から受け付け

●場所 町民交流センター

●参加料 三百円(当日受領、領収書なし)

●申込締め切り 十二月十八日(金)まで

●申し込み用紙 町内の公民館、生涯学習課に備え付けています。

●課題

- ▽幼児「てんち」▽小一「かどまつ」▽小二「大きな力」▽小三「明るいい心」▽小四「平和な国」▽小五「新年の朝」▽小六「天地清新」▽中一「科学の進歩」▽中二・三「世界雄飛心」▽一般「自由課題」

平成 21 年度町成人式を開催

成人式を一月十日に開催します。新成人だけでなく、保護者たちも参加することができます。

●日時 平成二十二年一月十日(日、成人の日)

●申し込み方法


- ①受け付け / 十二時から
- ②式典 / 十三時から
- ③祝賀会 / 十四時半から

会費は無料です。ただし、祝賀会の料理は新成人、来賓の分だけ準備します。

●場所 町民交流センター

●対象 平成元年四月一日から平成二年四月一日までに生まれた町内在住者▽町立中学校の卒業者

●問い合わせ 生涯学習課 柏崎 ☎ 0178(56) 4276



子どもえんぶり教室

おいらせ町に伝わる「百石えんぶり」は、国重要無形民俗文化財に指定されている、大変貴重な郷土芸能です。地域に伝わる伝統芸能を、ぜひ体験してください。興味のある人は、気軽に申し込んでください。

●練習の日時 平成 22 年 1 月 7 日(木)から 2 週間程度 19 時から 20 時半まで

●場所 町郷土芸能会館(七軒町、百石高校南側)

●対象 町内の小学生から高校生まで

●内容 [小学生] 竹の子舞、松の舞、喜び舞、恵比寿舞、大黒舞 [中・高校生] 太夫(烏帽子、男子のみ)、笛・太鼓(男女とも)

●申込締め切り 1 月 6 日(水)まで

●申込方法 生涯学習課へ電話で申し込んでください。


●えんぶり開催日 2 月 15 日(月)から 17 日(水)までの 3 日間

●問い合わせ 生涯学習課 ☎ 0178-56-4276

入会はいつでも受け付けています 東京おいらせ会

東京おいらせ会は「首都圏在住のおいらせ町出身者や町にゆかりのある者」で組織されています。会員相互の親睦と、郷里おいらせ町との交流発展を目指し活動しています。入会はいつでも受け付けています。気軽に連絡してください。

☎ [おいらせ会事務局] 〒130-8531 東京都墨田区錦糸 3-2-1 アルカイスト 14F 三井金属エンジニアリング(株)国内営業部 橋政人 ☎ 03-5610-7840 [企画課] ☎ 0178-56-4701



夏は納涼屋形船、秋はゴルフコンペを行いました。新年会も予定しています。

扶養親族等申告書の提出は済みましたか？

現在、おいらせ町の一部の人は



扶養親族等申告書が届くネン。

届いた人は記入してポストに入れると



所得税の控除が受けられるネン。

分からないときはねんきんダイヤルへ電話してネン。



扶養親族等申告書の件ですか？

もしはがきをなくしてしまったり捨ててしまったら



そのような時は八戸社会保険事務所に電話してネン。

ねんきんダイヤル ☎ 0570-05-1165

教えておいらくん

扶養親族等申告書で「よくある質問」に答えるよ

- 問 扶養する人がいなくても提出しなければいけないの？
- 答 自分の分の基礎控除が受けられるから、提出してね。
- 問 提出期限が過ぎてしまったらどうすればいいの？
- 答 提出はできるから、すぐにポストに入れてね。
- 問 送付された人が亡くなっているけど、どうすればいいの？
- 答 提出はいらないよ。受給者の死亡手続きをしていないときは、手続きをしてね。
- 問 扶養親族等申告書を汚したりなくしたりしたときはどうすればいいの？
- 答 八戸社会保険事務所に電話してね。



■問い合わせ 八戸社会保険事務所 ☎ 0178-44-1742
町民課 (本庁舎1階) ☎ 0178-56-2246

平成二十二年二月中旬から、住民税、所得税の申告を本庁舎で受け付けます。詳しい日程は広報おいらせ一月号以降に掲載します。なお、農業申告対象の農業者は次のことに注意してください。

●**伝票類の整理** 農業者は申告時期までに農業に関する伝票類をそろえておいてください。収入と経費に分け、收支内訳書の前もって作成しておきましょう。收支内訳書の用紙は税務課にあります。

●**収入に入るもの** 証明書▽自家消費量▽雑収入※1などです。給与や年金など、農業以外の収入がある人は、源泉徴収票または給与支払い証明書も必要です。

●**経費に入るもの** 育苗費▽肥料代▽農薬代▽修繕費▽共済掛け金▽燃料費▽荷造り運賃▽臨時雇い費▽借入金利子▽作業

●**所得税控除の対象** 国民健康保険税▽後期高齢者医療保険料▽介護保険料▽国民年金保険料▽農業者年金保険料▽生命保険料▽損害保険料などです。申告のときは領収書、支払い証明書を添付してください。特に国民年金保険料の領収書は、忘れずに持参してください。

12月の納税相談日

日中お仕事などで、税金の納付や相談が困難な皆さんを対象に、夜間と休日に納税相談日を設けています。開設時間内であれば各種税金を納めることもできます。お気軽にご利用ください。

	会場	月日	時間
夜間	本庁舎 (税務課)	12月1日 (火)	17:15-20:00
		12月15日 (火)	
	分庁舎 (分庁サービス課)	12月8日 (火)	
		12月22日 (火)	
休日	本庁舎 (税務課)	12月6日 (日)	8:30-17:00

●問い合わせ 税務課 ☎ 0178-56-4704

◎12月25日(金)は次の税金の納付期日です。忘れずに納めましょう。

- 町・県民税 (第4期)、国民健康保険税 (第6期)
- 介護保険料 (第6期)、後期高齢者医療保険料 (第6期)

※納め忘れ防止、手間のかからない口座振替が便利です。

町職員の給与

(1) 人件費の状況 (平成20年度)

人口※1	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率※2
25,023人	9,380,511千円	109,436千円	1,335,789千円	14.2%

※1/平成20年度住民基本台帳に基づく人口 ※2/人件費Bを歳出額Aで割った割合

(2) 職員給与費 (平成20年度普通会計決算)

職員数A※3	給与費			計B	1人あたりの給与費B/A
	給料	職員手当※4	期末・勤勉手当		
146人	546,099千円	279,144千円	217,217千円	1,042,460千円	7,140千円

※3/平成20年4月1日現在の普通会計職員数 ※4/退職手当は含まれない

(3) 職員の平均年齢、平均給料月額、平均給与月額 (平成21年4月1日現在)

	一般行政職			技能労務職員 (運転手)		
	平均年齢	平均給料月額※5	平均給与月額※6	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
おいらせ町	41.3歳	314,500円	347,983円	53.0歳	360,400円	387,700円
青森県	44.3歳	354,500円	424,176円	45.8歳	314,700円	359,355円
国	41.5歳	325,521円	391,770円	49.2歳	285,548円	322,737円

※5/各職種ごとの職員基本給の平均 ※6/給料月額と各種手当の合計 ※/国家公務員の平均給与月額には、時間外勤務手当などが含まれていません。国ベースで純粋に比較すると、おいらせ町の一般行政職給与月額は341,692円、技能労務職給与月額は393,117円です。

(4) 職員の経験年数・学歴別の給料月額 (平成21年4月1日現在)

	一般行政職			技能労務職員 (運転手)	
	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	経験年数30年	経験年数35年
高校卒	215,300円	270,900円	313,300円	345,900円	374,800円
大学卒	272,600円	311,300円	349,700円	-	-

町職員数

(1) 部門別職員数と増減理由 (平成21年4月1日現在)

部門	区分	職員数		対前年増減数	増減の主な理由
		平成20年	平成21年		
一般行政部門	議会	3	3	0	
	総務企画	47	45	▲2	業務見直しによる
	税務	14	14	0	
	社会福祉	2	2	0	
	民生	19	20	1	業務見直しによる
	衛生	12	12	0	
	労働	1	1	0	
	農林水産	12	12	0	
	商工	5	5	0	
	土木	11	11	0	
	小計	126	125	▲1	
教育部門		20	19	▲1	横浜市との人事交流による
公営企業会計部門	病院	46	45	▲1	退職による
	下水道	5	4	▲1	業務見直しによる
	その他	14	14	0	
	小計	65	63	▲2	
合計		211 [223]	207 [223]	▲4	[]内の数字は条約定数の合計

(2) 定員適正化計画

平成17年4月1日	平成22年4月1日	純減数	純減率
職員数 226人	職員数 214人	12人	5.3%

詳細内容は12月末にホームページに掲載します▶▶▶ <http://www.town.oirase.aomori.jp>

おいらせ町 検索

OIRASE BRAND File 10

【全国に誇れる】
おいらせが **ブランド**

おっぱいメロン



Oppai melon

母乳を飲んでる赤ちゃんでも安心して食べられるーそんな思いを込めて作られているのがこのおっぱいメロン。おいらせの代表的な特産品のひとつだ。
 おっぱいメロンを初めて見る人は、その大きさに驚く。一玉の重さはおよそ四⁺。普通のメロンの三倍近くもある。
 ナイフを入れると、果汁が中からしたり落ちてくる。口にすると、

と、とろけるような触感。上品な甘さと香りが口の中に広がる。まさに至福の瞬間だ。
 このおっぱいメロンを開発した吉田種苗株式会社の吉田譲社長は「いつも予約が殺到し、すぐ完売してしまいます」とにっこり。ぜひ一度は味わってほしい一品だ。

町はおいらせブランド推進協議会と一緒にブランドづくりに取り組んでいます。本年度はモニターツアーや新商品開発プロジェクトなどに取り組む予定です。興味のある人は、ぜひ入会してください。

●問い合わせ おいらせブランド推進協議会 ☎0178-56-2019
 ポータルサイト <http://www.oirasebrand.com/>

おいらせブランド 検索

人権相談の窓口を開設します

●町民課 ☎0178(56)2246

十二月十日は世界人権デーです。毎年十二月四日から十日までを人権週間としています。各地で基本的な人権の精神を徹底させるための行事が開かれます。わたしたち一人ひとりが人権について考え、明るく豊かな社会をつくりましょう。

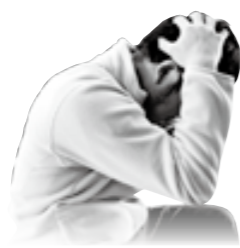
町は次の通り人権相談所を開設します。▽離婚や相続など家庭内のもめごと▽高齢者や子どもの虐待やいじめ▽差別▽近隣間の騒音

トラブルなどの悩み、人権擁護委員が相談に応じます。

相談は無料です。個人情報などの秘密は堅く守られますので、安心してください。悩みは一人では解決することが難しいものです。気軽に相談してください。

●日時 十二月四日(金) 九時から十五時まで

●場所 中央公民館



一人で悩まないで...

子育て支援センターのサークル活動

場所	日時	行事内容
三田保育園 ☎0178 56-2008	12/1◎	10:00~11:00 手づくりおもちゃで遊ぼう(みらい館)
	12/2◎	10:00~11:00 手づくりおもちゃで遊ぼう(ひまわり館)
	12/8◎	10:00~11:30 親子クラブ
	12/9◎	10:00~12:00 体験保育(2歳クラス)
	12/10◎	10:00~12:00 ハンドメイドクラブ
	12/15◎	10:00~12:00 体験保育(1歳クラス)
	12/16◎	10:00~11:30 マタニティママクラブ
	12/22◎	10:00~12:00 体験保育(0歳クラス)
	12/4◎、11◎、17◎	10:00~12:00 たんぽぽクラブ ※詳細はたんぽぽ通信をご覧ください
	12/5⊕	9:00~ おゆうぎ発表会
錦ヶ丘保育園 ☎0178 56-4051	12/8◎	10:00~11:30 元気ルーム(クリスマスパーティー)
	12/15◎	10:00~11:30 ピヨピヨルーム(クリスマスパーティー)
菜の花保育園 ☎0176 53-8670	12/12⊕	10:00~11:15 体験保育
	12/12⊕	14:00~15:30 わくわくサークル(ケーキ作り)
あゆみ保育園 ☎0178 52-2206	毎週土曜	15:00~16:30 キッズバレエ&リフレッシュ体操(有料)
	12/1◎	10:00~11:30 おゆうぎを踊りましょう
	12/3◎	10:00~11:30 フラダンス
	12/8◎	10:00~11:30 衣装作り
	12/10◎	10:00~11:30 フラダンス
	12/12⊕	9:30~11:30 おゆうぎ会に参加しましょう
	12/14⊕	10:00~11:30 おしゃべりサロン
	12/15◎	10:00~11:30 リース作り
	12/17◎	10:00~11:30 はんど&はあとサークル
	12/18◎	13:30~14:30 マタニティほんわかルーム(離乳食試食)
	12/21⊕	10:00~11:30 おいらせクローパ
	12/22◎	10:00~11:30 クリスマス会
	12/24◎	10:00~11:30 はんど&はあとサークル
	※詳細はきらら通信をご覧ください	

おいらせ町長選挙 投票日は二月二十八日

●町選挙管理委員会 ☎0178(56)2106

平成二十二年三月二十五日任期満了による、おいらせ町長選挙の日程は次の通り決定しました。

詳細は広報おいらせ二月号に掲載します。

●選挙期日 平成二十二年二月二十八日(日)

●告示日 平成二十二年二月二十三日(火)

町耐震改修促進計画案を公表します

●町地域整備課 ☎0178(56)4702

町は本年度「建築物の耐震改修の促進に関する法律」に基づき、「おいらせ町耐震改修促進計画」の策定を行う予定です。本計画は、町内の建築物の耐震診断および耐震改修の促進を図ることが目的です。

●公表期間 十一月三十日

一般競争入札で 町有財産を売却します

●町財政課 ☎0178(56)4273

●公売物件の表示 旧百石駐在所用地

○土地の表示 おいらせ町 上前田一二五番地一、一二五番地三(四八三・八二平方メートル)

○予定価格 千百万円

※市街化区域内/第二種住居地域(建60坪、容200%)に所在

●縦覧および入札参加申込書受け付け

○期間 十二月四日(金) から十二月十四日(月)まで、土日祝日を除く

○場所 財政課

●入札

○日時 十二月十八日(金) 十時から

○場所 中央公民館講堂

●入札保証金 免除

●参加資格 契約を結ぶ能力を有しない人や、破産宣告者で復権を得ていない人を除き、誰でも参加できます。希望者は「一般競争入札参加申込書」を提出してください。

相談日

●行政相談、町民相談を開設します

●町民相談 ☎0178(56)4701

○日時 十二月九日(水) 十時から十五時まで

○場所 東公民館

●相談員 小向恵子相談員

●行政相談

○日時 十二月二十二日(火) 十時から十五時まで

○場所 東公民館

●相談員 中村廣美相談員

●法テラス青森でも相談を受け付けています ☎05033835552

ごみは夜出さず、収集日の朝8時までに出してください。ペットボトルのキャップやラベルははずしてください

町内会	有楽町/阿光坊/本村/新敷 錦ヶ丘/洗平	住吉町/若葉/青葉/緑ヶ丘 鶏久保/木下/豊栄/豊原 向山/苦米地/洋光台/根岸 黒坂/深沢/一川目/二川目	鍋久保/三本木/三田/間木/曙 木内々/染屋/木崎/秋堂/中野平 苗振谷地/向坂/本町地区/くるみ団地 藤ヶ森/いちよう団地/堀切川/川口 /明神下/横道/日ヶ久保
燃えるごみ	毎週月・木曜日 (12月28日まで収集、1月4日開始)		毎週火・金曜日 (12月29日まで収集、1月5日開始)
燃えないごみ	12月25日(金)	12月22日(火)	12月28日(月)
資源ごみ	缶・プラスチック 12月2日(水) プラスチック 12月16日(水)	紙 12月9日(水) びん 12月23日(水)	
粗大ごみ	12月11日(金)・25日(金) ★有料予約制/1週間前までに申込みが必要です		

祝日も収集します

●問い合わせ 環境保健課(分庁舎1階) Tel 0178-56-4218

募集します

生活習慣病予防のため
栄養教室を開催します

環境保健課
☎0178 (56) 4218

講座の内容

- ① 簡単ヘルシー・クリスマスメニューでプチパーティー・年末年始体重を増やさないコツ(調理と講話) / 十二月二十四日(木)
- ② 上手に野菜を取り入れるコツ / 二月二十五日(木)

● 時間 十時から十三時まで

● 会場 いきいき館

● 食材費 三百円

● 持ち物 エプロン、三角巾、米一合

● 講師 町栄養士、保健師

● 締め切り 十二月十四日(月)まで

遠野物語ファンタジー参加者を募集します

まちづくり推進委員会
☎0178 (56) 4701

● 選挙資格者 本町に在住し、平成二年四月一日以前に生まれ、次の事項に該当する人です。

① 十ヶ以上の農地を耕作している人

② 前述①の該当者と同居する配偶者または親族で、年間六十日以上耕作に従事する人

● 申請書の提出方法 発送された申請書に必要事項を記入し、農業委員会へ提出してください。

記入方法や注意事項は申請書の裏面に記載します。不明な点は気軽に問い合わせてください。

遠野物語ファンタジーの参加者を募集します。

遠野物語ファンタジーは、岩手県遠野市の冬の風物詩。遠野物語を題材に、市民による脚本、演出、演奏などが行われる市民一丸となったステージです。今回の脚本は「オシラサマ昇天」です。



遠野市民の思いが込められたステージ

● 日程 一月三十日(土)から三十一日(日)までの一泊二日

● 参加費 △初参加の人は六千円▽過去に参加経験のある人は九千円(昼食代は自己負担)

● 対象 中学生以上の町民

● 募集人数 十三人(申し込み多数のときは選考の上決定します)

● 交通機関 マイクロバス

● 申込締め切り 一月十三日

環境衛生

狂犬病予防接種を済ませてください

環境保健課
☎0178 (56) 4218

今年春と秋の二回、狂犬病予防の集合注射を行いました。まだ予防接種が済んでいない人は、早めに動物病院などで接種を受けてください。

動物病院で注射を受ける場合、注射済み証明書もらった上、環境保健課または町民課で注射済票を交付してもらってください。手数料は五百五十円です。

日(水)まで

● 参加条件 まちづくり推進委員会が主催する事業に参加できる人

フットサル大会の出場チームを募集

町サッカー協会(赤坂)
☎0178 (56) 4259

第二十回日本フードパッカーカップ争奪フットサル大会の出場チームを募集します。



フットサル大会の出場チームを募集

● 日時

① 三部・四部(小学生) 一月十六日(土)

② 一部・二部(中学生以上) 一月十七日(日)

● 時間 開会式 / 八時半

● 競技開始 / 九時

● 試合時間 十分間

● 参加資格 町内小中生、高校生、職場町内会などの団体で、スポーツ傷害保険に加入する人

保健福祉

高額医療・高額介護合算制度で負担を軽減

環境保健課
☎0178 (56) 4218

本制度は、医療保険と介護保険のサービスを利用する世帯の負担を軽減する制度です。後期高齢者で下表に該当すると思われる人には、十二月に個別通知しますので、忘れずに手続きしてください。

国民健康保険で該当すると思われる人は、下表を確認の上で問い合わせください。

所得などの区分	自己負担額(保険適用分合計額)	
	H20.8 ~ H21.7	H20.4 ~ H21.7
70歳以上		
① 後期高齢者医療被保険者証、高齢受給者証の負担割合が3割	67万円	89万円
② ①、③、④以外	56万円	75万円
③ 世帯全員が住民税非課税	31万円	41万円
④ ③で世帯全員の所得が一定以下	19万円	25万円
70歳未満		
⑤ 世帯全員の所得合計が一定以下	126万円	168万円
⑥ ⑤、⑦以外	67万円	89万円
⑦ 世帯全員が住民税非課税	34万円	45万円

● チーム編成 一チーム五人、エントリーは一チーム十人まで

● 参加料 一チーム二千元

● 申し込み 十二月二十二日(火)までに、参加料と一緒に申し込んでください。

農業委員会

農業委員選挙人名簿登録申請書の提出

町農業委員事務局
☎0178 (56) 4874

町農業委員会は、農家から農業委員選挙人名簿登録申請書を提出してもらっています。本年度の提出期限は一月十日(日)までです。

選挙人名簿はこの申請書をもとに作られます。名簿に掲載されていないと、投票やリコール請求などもできません。対象者は必ず申請書を提出してください。選挙資格者のうち、十二月中に登録申請書が配布されなかった場合は、気軽に問い合わせください。

戸籍の窓

こんにちは赤ちゃん

8件 / 届出 16件

- 市 村 槿(俊一・栄里) 藤ヶ森
- 松 林 希(生人・智加) 緑ヶ丘
- 工 藤 見誠(広幸・紀子) 間木
- 平 澤 七(真行・由加里) 苗振谷地
- 種 市 灯(敏幸・賀津子) 上新町
- 吉 村 南(英之・智佳子) 鶉久保
- 越 沢 悠(正勝・美香) 一川目
- 小 向 優(均・ロシェリ) 秋堂

結婚おめでとう

1件 / 届出 5件

- 松 林 彰彦 木ノ下
- 奥 寺 理絵 階上町

お悔やみ申し上げます

13件 / 届出 19件

- 小 向 正一 66 上新町
- 北 向 重五郎 82 三田
- 工 藤 トワ 86 一川目
- 山 野 シズエ子 97 緑ヶ丘
- 八ッ山 利行 48 藤ヶ森
- 伊 藤 幸助 79 洋光台
- 能 方 保 59 青葉
- 袴 田 セツ 81 間木
- 中川原 春藏 83 二川目
- 小 向 和子 73 根岸
- 赤 澤 文夫 67 肴町
- 小 向 雪 80 木内々
- 佐 藤 サタ 85 木ノ下

10月届け出分。本誌への掲載を希望した人だけ載せています

おいらせ町の人口

(11月1日現在)

	人口	前月比
男	12,202	- 3
女	12,887	+ 10
計	25,089	+ 7
世帯数	9,217	+ 23

しっかり健診を受けてください

種類	会場や実施時期
■ 特定健診 (診察・血液検査)	■ 老人福祉センター [12/7] ■ 石田温泉病院、三上医院、下田診療所 [~ 1/30]
■ がん健診 (胃・大腸・肺・前立腺)	■ 老人福祉センター [12/7]
■ がん健診 (乳・子宮)	■ いきいき館 [12/2 ~ 12/4] ■ おいらせ病院(乳のみ) * [~ 1/25] * 40歳代、50歳代のみ受け付け

● 問い合わせ 環境保健課 ☎0178-56-4218

祝成人

撮影ご予約承り中



成人式用
衣装レンタル 振袖 ¥38,000 ~
(着物、帯、袴、草履、バッグ、小物一式含む)

Tel: 0178-52-2525 / Fax: 0178-52-2603
Web: Yahoo! や Google で「アトリエゆう」を検索

労働大臣検定一級写真技能士の店
有限会社 アトリエゆう

お知らせ 健康カレンダー

日・曜	行事名	時間	場所	備考
1 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
2 水	転倒予防教室 婦人科検診（4日まで）	9:30-12:00 11:30-12:45	北公民館	理学療法士の運動指導
3 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
4 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
5 土				
6 日				
7 月	町民健診	受け付け／6:45-8:30	老人福祉センター	
8 火	リハビリ健康相談 1歳6カ月児健康診査 健口栄養講座	9:30-11:00 受け付け／12:30-12:45 9:30-12:00	いきいき館 いきいき館 北公民館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談 対象○平成20年5月生まれの子ども
9 水	2～3カ月児健康相談 乳幼児健康相談 生活習慣病予防講座	受け付け／10:00-10:30 受け付け／13:00-13:30 13:30-15:30	いきいき館 いきいき館 東公民館	対象○平成21年9月生まれの子ども 講師○木村歯科院長、日赤病院高橋医師
10 木	転倒予防教室 冬場の運動不足解消教室	9:30-12:00 13:30-15:00	のびのび館 いきいき館	理学療法士の運動指導 健康運動指導士の脂肪燃焼運動法
11 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
12 土				
13 日				
14 月				
15 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
16 水	転倒予防教室 5～6カ月児健康相談	9:30-12:00 受け付け／10:00-10:30	北公民館 いきいき館	健康運動指導士の運動指導 対象○平成21年6月から7月生まれの子ども
17 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士のリハビリ指導、相談
18 金	リハビリ健康相談 3歳児健康診査	9:30-11:00 受け付け／12:30-12:45	いきいき館 老人福祉センター	対象○平成18年6月生まれの子ども
19 土	愛の献血	10:00-16:00	イオンモール	
20 日				
21 月				
22 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
23 水	転倒予防自主トレーニング	9:30-12:00	のびのび館	
24 木	転倒予防教室 生活習慣病予防栄養講座 冬場の運動不足解消教室	11:00-12:00 10:00-13:00 13:30-15:00	老人福祉センター いきいき館 いきいき館	理学療法士の運動指導 栄養士の調理実習など 健康運動指導士の脂肪燃焼運動法
25 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
26 土				
27 日				
28 月				
29 火				
30 水				
31 木				

お知らせ町農業委員会委員一般選挙投票日

1月31日（日）

投票時間は7時から18時まで

■期日前・不在者投票は1月27日から30日まで

●時間 8時30分から20時まで

●場所 本庁舎 町民ホール



- 投票できる人 平成二十一年三月三十一日に確定した「おいらせ町の農業委員会委員選挙人名簿」の登載者までです。投票所は指定されません。通常選挙より早い時間帯に投票所を閉鎖します。注意してください。
- 投票所入場券 有権者へ入場券を発行します。自分の名前が書かれている部分を切り取り、指定された投票所へ持参してください。入場券をなくした人、届かなかつた人でも、選挙権があれば投票できます。直接投票所へ来てください。なお、候補者が定数を超えない場合は無投票になります。その場合、入場券は発行しません。
- 期日前投票
 - 期間 一月二十七日（水）から一月三十日（土）まで
 - 場所 本庁舎 町民ホール
 - 時間 八時半から二十時まで
- 不在者投票 不在者投票の

食糧を支えるための大切な農業 —あなたの意見を農政に反映させましょう—

- 立候補の届け出
 - 日時 一月二十六日（火）八時半から十七時まで
 - 場所 本庁舎 203会議室
 - 開票
 - 日時 一月三十一日（日）十九時から
 - 場所 町民交流センター
 - 問い合わせ 町選挙管理委員会 ☎0178(56)2166
 - 立候補予定者説明会
 - 日時 一月八日（金）十五時から
 - 場所 本庁舎 201会議室
- 期間は、期日前投票と同じです。県選挙管理委員会が指定する病院や老人ホームなどに入院、入所している人は、その施設内で不在者投票をすることができません。詳細は施設に問い合わせてください。
- また、都合により町外に滞在している人も不在者投票をすることができます。町選挙管理委員会で手続きしてください。

あなたの投票所を確認してください

<p>【第1投票所】 本村地区伝承館</p> <p>投票の区域○本村、鍋久保、赤田前、洗平、新敷、錦ヶ丘、阿光坊</p>	<p>【第2投票所】 本庁舎 町民ホール</p> <p>木内々、間木、曙、芦野、有楽町、染屋、木崎、秋堂、中野平、三本木、三田、奥入瀬団地</p>	<p>【第3投票所】 木ノ下ふれあい館</p> <p>木ノ下、苦米地、豊栄、向平、向山、豊原、鶴久保、住吉、緑ヶ丘、若葉、青葉</p>	<p>【第4投票所】 一川目地区生活会館</p> <p>深沢、一川目、二川目</p>	<p>【第5投票所】 藤ヶ森地区生活会館</p> <p>本町、苗振谷地、藤ヶ森、堀切川、川口、明神下、横道、日ヶ久保、根岸、黒坂、向坂、洋光台</p>
---	--	--	---	--

編集後記

▽年の瀬も押し迫る平成六年十二月二十八日！当時高校三年生だったわたしは、数週間後に控えた大学入試センター試験の勉強中でした。夜九時半過ぎ、強烈な地震が襲いました。一緒にいたネコは、わたしが地震を感じる数十秒前に、尻尾の毛を太くさせながら、机の下に逃げ込みました。人間よりも、地震を敏感に察知する能力があるのだと思いました▽災害はいつ起こるか予想がつきません。だからこそ、平常時の訓練や備えが大切になるのだと、さまざまなる人の言葉から感じ取りました▽昨年六月の岩手・宮城内陸地震は、本町でも大きな揺れを感じました。いつあのような大地震がここで起こっても、不思議はありません。取材協力をいただいた一関市担当者には、この場を借りてお礼申し上げます。

企画課 広報担当
松林 拓大

雨にも負けず、みんな子どものようにしゃいだ

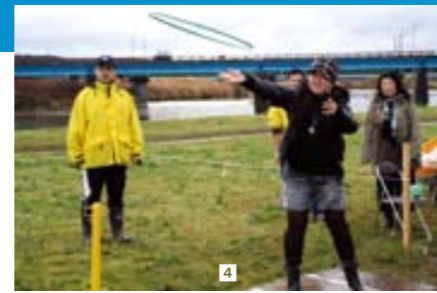
日本一のおいらせ鮭まつり

日本一のおいらせ鮭まつりは11月14日、15日の両日、しもだサーモンパークを主会場に開かれました。両日とも天候に恵まれず、時折激しい雨が降りしきりました。それでも訪れた観客は、鮭のつかみ捕りに夢中ではしゃぎます。期間中の来場者数はおよそ6千5百人（実行委員会発表）。来場者の皆さん、本当にありがとうございました。来年の好天を祈りながら、皆さんのお越しをお待ちしています。



1

1 鮭をつかみ満面の笑み。おいらせ鮭まつりには米国人もたくさん訪れる 2 つかみ捕り試技で豪快に鮭をつかまえた三村町長 3 つかみ捕り参加者にはお楽しみ抽選会。目当ての賞品を手にとり、大喜びの参加者



4

4 輪投げゲームコーナーで楽しむ参加者。子どもにも大人にも大人気 5 サーモンレースに参加した鮭名愛美さん＝十和田市＝。なかなかサケが進んでくれず大苦戦 6 サケ早つかみゲーム。捕まえたサケをしっかりとつかみ、ゴールを目指す



5



6

おいらせの晩秋の風物詩「日本一のおいらせ鮭まつり」は、町最大の観光イベントです。今年は十一月十四日、十五日の二日間、わたり開かれました。昨年の鮭まつりは両日とも快晴で温かい天気に恵まれました。しかし今回は両日とも悪天候。時折激しい雨、強烈な風に見舞われることもありました。しかし会場に訪れた来場者は、雨をもろともせずサケのつかみ捕りを楽しみました。いけすの中に放流された奥入瀬川のサケはおよそ千三百匹。所狭しと泳いでいます。子どもはもちろん、大人も大はしゃぎしながら、夢中でサケを追いかけてきました。中にはTシャツ姿の参加者や、いけすの水に飛び込みながらサケを捕まえる参加者もいました。

雨の中、1,300匹のサケを夢中で追いかけた2日間

サケにかかわる催しは、つかみ捕りだけではありません。五つのコースでサケを泳がせ、そのタイムを競うサーモンレースも大人気。中にはコースを脱走するサケ、逆走するサケもいました。そのたびに観客からは大きな笑いがありました。イベント初日の夕方は花火大会。奇跡的に空が晴れ上がったこの時間帯、いくつもの花火がごう音と共に夜空に打ち上げられました。美しい大輪の花が、夜空をまばゆいばかりに照らします。ほかに▽輪投げ▽キックターゲット▽チェンソーアート▽芸能発表など、多彩な催しが行われた鮭まつり。来年も十一月に開催します。次は晴れることを祈りながら、皆さんの来場をお待ちしています。

イベント初日の夕方は花火大会。一時的に晴れた夜空に、美しい大輪の花が咲いた 8 時折青空が広がったイベント2日目。空には美しい虹のアーチがかかった 9 丸太からモニュメントをつくり出すチェンソーアート 10 松永ひと美さんの歌声に、観客は耳を傾けながらうっとり

7 イベント初日の夕方は花火大会。一時的に晴れた夜空に、美しい大輪の花が咲いた 8 時折青空が広がったイベント2日目。空には美しい虹のアーチがかかった 9 丸太からモニュメントをつくり出すチェンソーアート 10 松永ひと美さんの歌声に、観客は耳を傾けながらうっとり



8



9



10



豊富な運動量と確かなテクニク
なでしこジャパンを目指したい

深沢美希さん

ふかさわ・みき



高等学校新人戦県大会女子サッカーの部は十一月六日から三日間、三沢市を主会場に開かれた。

当初から優勝候補として注目されていた千葉学園高校女子サッカー部は、初戦から順調に勝利を積み重ね、決勝へ進出。最後は三本木高校を1-0で下し、見事優勝を勝ち取った。

中でも本町出身の深沢美希さん(一六) 豊栄IIは、中盤の底であるボランチとして、勝利に大きく貢献。決勝点は彼女の右足から放たれた、強烈なミドルシュートによるものだった。試合後はメンバーと共に、満面の笑顔で勝利を喜んだ。

深沢さんが務めるボランチは、守備と攻撃が激しく入れ替わる、運動量の多いポジション。戦況を的確に読みながら、試合の流れをチームに引き寄せる。まさにチームの心臓ともいえる役目だ。

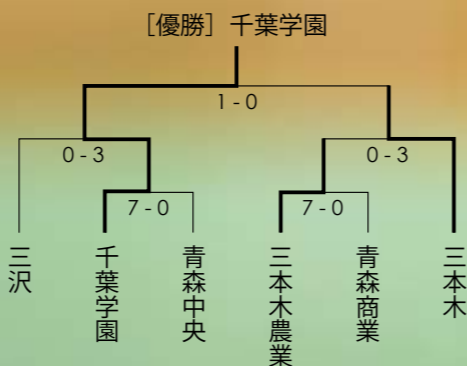
この大会、深沢さんは4ゴール3アシストの大活躍。相手を翻弄しながら、決定的なパスを前線に送る。力強いドリブルで、相手守備陣に当たり負けしない。そして右足の強烈なミドルシュートは、相手にとって非常に脅威だ。準決勝の三沢高校戦、キーパーと一対一になる決定的な場面もあった。

が、シュートはわずかに枠の外。「あれを決められなかったなんて」と悔しがる。

サッカーを始めたのは木ノ下小学校三年生のころ。サッカー部に一人だけ入部した友人から「一緒にやろうよ」と誘われたのがきっかけだった。それまでサッカーの経験などなかった深沢さんだが、練習を積み重ね、少しずつテクニクを磨いていった。日々のトレーニングで体力もつき、運動量もしだいに増えていった。

進学した木ノ下中学校にはサッカー部がなかったため、五戸スポーツクラブに加入した。中学校三年生のころ、ひざの靭帯を伸ばすけがに見舞われ、全国大会出場が危ぶまれた。しかし深沢さんは痛み止めの注射を打ち、痛みにも絶えずながら試合に出た。「痛かったけど、とにかく試合に出たかったんです」と当時を振り返る。

女子サッカーの名門校、千葉学園高校に入学し、さらにサッカーの魅力を感じているという深沢さん。「得点の瞬間、アシストの瞬間がとてうれしいです」とこり。将来は「なでしこジャパン(女子サッカー日本代表)で日の丸を背負ってプレーしたいです」と、真剣なまなざしで前を見た。



PROFILE

ふかさわ・みき ● 1993年おいらせ町豊栄で生まれる。木ノ下小学校3年生のころからサッカーを始める。中学生のころは五戸スポーツクラブに所属し、全国大会にも出場。2008年、千葉学園高等学校総合ビジネス科に入学。入学当時からサッカー部の主力選手として活躍する。父、母、兄との4人暮らし。おいらせ町豊栄在住、16歳





投じるフリスビーに思いを込めて
息子は父親のたくましさを感じた

馬場直人さん 悠生君

(緑ヶ丘)

PROFILE

ばば・なおと◎1979年三沢市生まれ。電気工事士として日々汗を流す。現在、3人の父親として子育てに忙しい毎日を過ごしている。母、妻、長男、長女、次女との6人暮らし。おいらせ町緑ヶ丘在住、30歳。

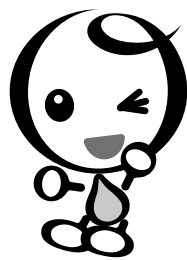
ばば・ゆうき◎2001年おいらせ町緑ヶ丘生まれ。現在、木ノ下小学校2年生。8歳。

おいらせ鮭まつりを直前に控えた十一月八日、しもだサーモンパークでフリスビー遊びをする馬場直人さん(なおと)（三〇）緑ヶ丘IIと長男の悠生君(ゆうき)（八つ）。

直人さんと悠生君は、十五歳ほど離れて向かい合う。直人さんの投げたフリスビーは、しっかりと悠生君のところへ届く。悠生君も負けじと父親目かけ、フリスビーを投げる。しかしなかなか届かない。父親の放るフリスビーは力強く正確。悠生君は「お父さんはすごいね」と、父親のたくましさをしつかりと感じ取っている。

悠生君は木ノ下小学校に通う二年生。三人兄弟のお兄さんだが、時には二人の妹たちとけんかもする。まだまだやんちゃな男の子だ。

直人さんは「子どもたちには健やかに、素直な心に育ってほしいですね」と笑顔で悠生君を見つめる。その様子を見て、悠生君もにっこり笑顔でほほ笑んだ。



奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち

広報 **おいらせ**

広報おいらせ No.58 2009年12月1日発行号

発行 おいらせ町／編集 企画課／〒039-2192 青森県上北郡おいらせ町中下田135-2／☎0178-56-2111／<http://www.town.oirase.aomori.jp>／印刷 (株)岩間印刷

広報おいらせ12月号の印刷経費は、1部71円です